

最近の上田高校の話題 「台風 19 号の影響・学校の様子」

関東同窓会の皆様には、日頃より物心ともども母校を支えていただき、誠にありがとうございます。

現在（令和2年3月末）本校も、新型コロナウイルスへの対応で休校が続き、生徒に関わる学校生活はほぼ止まっている状況ですが、昨年秋の台風被害には関東同窓会の皆さまから温かい励ましをいただき、勇気づけられました。関西同窓会へ報告をもとに、寄稿をさせていただきます。

（上田高校全日制教頭 柳沢忠男）

全国ニュースにも取り上げられました通り、今回の台風 19 号は、長野県に大きな被害をもたらしました。本校にも少なからず影響がございました。

中でも、通学に係る被害は甚大で、生徒の多くが利用するしなの鉄道が、東御市で起きた道路崩壊の影響で上田駅から田中駅までが不通となったことで、全校生徒のおよそ 35%が、また上田交通別所線の千曲川に係る鉄橋の崩落で別所線が不通となったことで約 5%の生徒が、通学の足を奪われてしまいました。この数字は他の県立高校と比しても圧倒的な数に上り、学校としても色々な対応を迫られることとなりました。

台風直後の火曜・水曜は、本校でも通学困難な生徒に通学方法を検討してもらうために、臨時休校の措置を取りました。その後、始業時刻を繰り下げたり、授業時間も短縮したりと工夫をし、何とか学校再開をしましたが、当初は道路の復旧状況もままならない中、ご家庭の方々の送迎や近隣の生徒さん同士での乗合い等の工夫をいただき何とか登校してくる生徒もあり、中にはご家庭の方のお勤めの都合で早朝に家を出発し午前 6 時半ごろに学校まで送ってきてもらう生徒もいました。

生徒の通学方法の確保や通学困難者の学習支援のために、学校長が陣頭指揮を執り、様々な方面への働きかけを行いました。校内でも、生徒を合宿所に一時的に寝泊まりさせる方法を探ったり、先生方も自発的に通学困難な生徒対象のインターネット回線を用いた授業内容や教材の提供や、学校へ来ることができない生徒へ進路関連の書類を届けたり等、様々な対策が講じられました。

県内中が混乱した時間を送る中、連日の働きかけの甲斐もあり県教育委員会は、県やしなの鉄道に呼びかけ 10 月 23 日から高校生救済のためのしなの鉄道上田駅—田中駅間の代替輸送を発表しました。この代替輸送で、生徒たちは家族の送迎がなくても、しなの鉄道の定期券を提示すれば、滋野駅以西の利用者は代行バスで上田駅まで、小諸駅以东の利用者は北陸新幹線で上田まで通学できることとなりました。代替輸送もはじめのうちこそ、いろいろと混乱もありましたが、その後は少しずつ生徒も慣れてきて、学校生活も徐々に日常を取り戻しつつありました。しかしながら、この間も定時制の生徒が授業を終える時間には、代替輸送バスの運行がなく、定時制の先生方が、本校の野球班のバスで東御市方面へ送る対策も取られました。

台風 19 号からおよそ一カ月が過ぎた 11 月中旬、東御市の崩落した現場の復旧作業も見通しが立ち、運休期間であったしなの鉄道上田駅—田中駅間も 11 月 15 日（金）からは運航が再開されました。

また、時同じくして、それまで下之郷駅までしか運行されていなかった上田駅別所線も城

下駅まで運行されることとなり、塩田平の生徒たちも電車で通学できるようになりました。

学校も、それまで日課を工夫して、なんとか授業を行ってまいりましたが、運行再開に伴い、11月19日(火)からはこれまで通りの通常日課となり、やっと日常を取り戻しつつあります。

県内各所に大きな爪痕を残した台風19号でしたが、上田高校生はこうした事態を目の当たりにし、自分たちでも何かできないかと、台風直後から災害ボランティアに参加し、地域の復興に貢献する者がいたことも、たいへん誇らしいことでした。

生徒にとっては普通に学校生活を送れる事がとても貴重なことであることに、改めて気が付く事の出来る経験だったと思います。

最後となりますが、これまで多くの方々から親切なお申し出や励ましのお言葉を頂戴したことは、学校としてもとても心強く、大きな支えとなりましたこと、皆様方に改めて感謝申し上げます。

引き続き、本校の教育活動に対し、皆様方のご支援をお願い申し上げます。

(全日制教頭 柳沢 忠男)